

11 市長総括



【佐藤 栄一 宇都宮市長】

ジュニア議員の皆さんお疲れ様でした。

5つの部会から10の提案を頂戴いたしました。実に素晴らしいご提案をいただいたこと、改めて感謝を申し上げます。

我々執行部も、皆さんの質問を受けまして、時間をかけて、答弁の打合せというものをいたしました。より良い答弁ができるよう、各担当の部局が入れ代わり立ち代わり、皆さんの質問に対して、検討を行ったところでございます。さっそく皆さんの提案の中で実行できるものは、市政に反映していきたいと思っております。

皆さんには今回、宇都宮のまちづくりについて真剣に考えていただきました。これからさらに深く知っていただくためにも、これから先のことをぜひ考えてみてください。皆さんの人生における後20年、50年先はどんな世の中になっているのか、それに対して手を打っていくことが大切になります。今言えることは、宇都宮市を含めた日本が、人口減少及び超高齢化社会を迎えるという事です。これは我が国の歴史をみても、未だかつてない状況です。先人、今生きている人、誰もが経験したことのない社会がやってくるという事です。人口が減るという事は、服や農産物などを買う人が少なくなるという事です。活気が失われ、社会も縮小していきます。高齢化が進むという事は、現役で働いている人が高齢者を支えることが難しくなるということです。そういう社会がやってきますし、そうなっても投げ出すことはできませんから、そうなっても持続的に発展できる宇都宮市を、そして国を作っていかなければなりません。

そこで宇都宮市は、皆さんが大人に、あるいはこれから生まれてくる子どもが大人になった時でも支えられるような街、宇都宮市の中をコンパクトな複数のエリアに分けて、日常生活に必要なものを整備し、バスや鉄道、LRTを駆使して、車の運転ができなくなっても自立して生活することができる、地域内交通のネットワークで守られた「ネットワーク型コンパクトシティ」を急ピッチで作りに上げていきたいと思っております。

そこで皆さんにもお手伝いをしていただきたいことがあります。

いずれは中心となって社会を支える皆さんには、自分自身の力、人間力を鍛え上げていただきたい。人間力は、これからの社会を支える力になるとともに、この先の人生で何か苦しい時やつらい時に、それを乗り越える力になります。その人間力は、様々な試練の中で生まれていきますが、やはり我慢をすることが大切だと思います。日常生活の中で我慢をしなければならないことはたくさんあります。我慢をしなくても済むかもしれませんが、でも、ぜひ我慢をしていただき、自分の人間力を高め、そしてこれからの人生に活かしてください。

今日は皆さまに大変素晴らしいご意見をいただきました。改めて感謝を申し上げて講評とさせていただきます。おつかれさまでした。